

2024年度第1回 J A北海道厚生連 帯広厚生病院倫理審査委員会 会議の記録概要

倫理審査委員会 事務局

開催日時	2024年4月4日（木）
開催場所	書面開催
書面審査委員名	高村 圭「委員長」、加納 崇裕、山内 英智、宮本 憲幸、吉田 晃 田村 広志、佐々木 亮、助川 麻衣子 外部委員：北村 延夫、岩田 明子
委員数	審査委員数：10名／全委員数：10名
審議課題	審議結果を含む主な議論の概要

研究課題番号	2024-001
審議案件名	浅大腿動脈をレシピエント血管とする遊離皮弁による膝周囲軟部組織欠損再建
実施責任者	整形外科 第2主任部長 本宮 真
審議内容	【迅速審査】 本件は、2019年4月から2023年3月までに当院で治療した膝周囲軟部組織欠損に対して、浅大腿動脈をレシピエント血管とした遊離皮弁を行った全4症例を対象とした後向き観察研究である。 本研究は過去の試料を用いて行う研究であり、患者への介入、侵襲がない為、迅速審査と判断した。
審議結果	承認

研究課題番号	2024-002
審議案件名	当院におけるT A Z / P I P C 14日以上投与患者の臨床的検討
実施責任者	呼吸器内科 副院長 高村 圭
審議内容	【迅速審査】 本件は、2022年4月から2022年12月、2023年4月から2023年12月のそれぞれに10ヶ月の間に当院で入院し、T A Z / P I P C の投与が14日以上行われた症例を対象とした後向き観察研究である。 本研究は過去の試料を用いて行う研究であり、患者への介入、侵襲がない為、迅速審査と判断した。
審議結果	承認

研究課題番号	2024-003
審議案件名	集中治療室で壮年期にある患者を亡くした家族の思いと終末期ケア
実施責任者	看護部 3北病棟 I C U ・看護師 高橋 里沙
審議内容	【迅速審査】 本件は、2023年2月から2023年8月の間に集中治療室で最期を迎えたA氏の家族を対象とした迅速審査の研究である。 本研究は過去の試料を用いて行う研究であり、患者への介入、侵襲がない為、迅速審査と判断した。
審議結果	承認

研究課題番号	2024-004
審議案件名	再発性抗MOG抗体関連疾患患者に対するリツキシマブの適応外使用
実施責任者	脳神経内科 主任部長 加納 崇裕
審議内容	【迅速審査】 本件は、2023年9月に脊髄症を発症し、MOG AD の診断のもと急性期治療ならびに経口ステロイド剤による再発予防治療が施行されたが、2024年2月に脊髄症を再発した患者を対象とした迅速審査の研究である。 本研究は過去の試料を用いて行う研究であり、患者への介入、侵襲がない為、迅速審査と判断した。
審議結果	承認

研究課題番号	2024-005
審議案件名	治療抵抗性中枢神経原発血管炎に対するリツキシマブの維持投与
実施責任者	脳神経内科 石丸 誠己
審議内容	【迅速審査】 本件は、当院にて治療中の中枢神経原発血管炎とそれに伴う多発脳梗塞症例に対するリツキシマブの適応外治療実施に関する申請です。抗CV2抗体と同様の細胞内抗原に対する自己抗体陽性脳炎等に対してリツキシマブが有効であった報告があり、本症例でも治療効果が期待できる。 過去に同様の申請のある薬剤適応外使用である為、迅速審査と判断した。
審議結果	承認

研究課題番号	2024-006
審議案件名	切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブにTACE療法を追加することの有効性を検証する多施設共同第III相臨床研究
実施責任者	放射線科 第1主任部長 宮本 憲幸
審議内容	【特定臨床研究】 本件は、令和5年6月に承認された特定臨床研究に伴う変更申請である。 いずれも軽微な変更である為、迅速審査と判断した。
審議結果	承認